



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社 積水工機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6487 URL <http://www.sekisuikouki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)海田 拓洋
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)浜田 洋介 (TEL)072(858)1121
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,348	6.8	124	688.2	114	—	99	—
26年3月期第3四半期	4,069	2.7	15	△62.6	5	△86.4	8	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 103百万円(—%) 26年3月期第3四半期 2百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	10.71	—
26年3月期第3四半期	0.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,249	2,493	39.9
26年3月期	5,846	2,377	40.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,493百万円 26年3月期 2,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	未定	未定

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	8.7	200	115.3	190	134.9	160	121.1	17.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	9,350,000株	26年3月期	9,350,000株
27年3月期3Q	76,176株	26年3月期	75,876株
27年3月期3Q	9,274,004株	26年3月期3Q	9,274,607株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の金型部門の状況につきましては、主要顧客である自動車メーカー各社の新車開発需要が引き続き堅調に推移したこと、顧客の部品調達の国内回帰などにより、活発な引合いが続きました。当第3四半期連結累計期間の受注は前年同期比8.4%増加しました。この結果、売上高も前年同期に比べ12.1%増加しました。産業機器部門の受注につきましては、国内主要顧客からの引合いは厳しい状況が続きましたが、海外向けの受注もあり、前年同期比5.1%増加しました。産業機器部門の売上高は昨年度の大口物件の売上の影響もあり、前年同期比4.1%減少しました。この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は4,348百万円と前年同期比6.8%増加し、営業利益は金型部門の売上高増加の影響などで124百万円となり、前年同期比688%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ403百万円増加し、6,249百万円となりました。主な内訳は資産側においては、流動資産が411百万円増加し、固定資産は7百万円減少しました。流動資産の増加は現金及び預金の増加251百万円と仕掛品の増加369百万円が主なものです。固定資産の減少は減価償却費が設備投資による増加額を上回ったことによるものです。負債側においては、流動負債は50百万円増加し、固定負債は236百万円増加しました。流動負債の増加は仕入債務の増加188百万円と品代前受金の増加92百万円が主なものです。固定負債の増加は長期借入金の増加258百万円が主なものです。純資産は四半期純利益99百万円の計上等により前連結会計年度末に比べ116百万円増加し、2,493百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社グループに関連する金型市場は、国内主要自動車メーカー各社の新車開発需要は、引き続き活発な引合いが続くと思われまます。一方、産業機器市場では、国内主要顧客の押出機関連設備の需要は、徐々に回復に向かうものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは通期の連結損益の計画達成に向け引き続き努力してまいります。当期の連結業績予想については、平成26年11月13日開示の業績予想に記載のとおり、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、デュレーション法による単一割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	849,315	1,101,306
受取手形及び売掛金	2,153,250	1,931,295
仕掛品	402,701	771,706
原材料及び貯蔵品	29,518	25,524
繰延税金資産	58,235	61,443
その他	43,308	56,347
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	3,534,329	3,945,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	479,216	484,764
機械装置及び運搬具(純額)	562,756	569,300
土地	1,112,910	1,112,910
建設仮勘定	36,272	14,585
その他(純額)	10,836	17,734
有形固定資産合計	2,201,992	2,199,295
無形固定資産		
ソフトウェア	46,962	35,260
その他	4,498	4,426
無形固定資産合計	51,461	39,686
投資その他の資産		
繰延税金資産	65	65
その他	58,502	65,033
投資その他の資産合計	58,567	65,098
固定資産合計	2,312,021	2,304,081
資産合計	5,846,351	6,249,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,527,903	1,716,755
短期借入金	886,660	683,323
未払法人税等	33,372	12,788
賞与引当金	61,800	48,255
工事損失引当金	1,390	-
設備関係支払手形	11,665	10,765
設備関係未払金	39,607	10,454
その他	222,719	352,863
流動負債合計	2,785,118	2,835,205
固定負債		
長期借入金	510,010	768,352
長期未払金	44,210	44,210
リース債務	83,271	66,425
繰延税金負債	1,413	3,439
退職給付に係る負債	44,907	38,372
固定負債合計	683,812	920,798
負債合計	3,468,931	3,756,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	700,000
資本剰余金	831,151	1,399,332
利益剰余金	29,305	473,447
自己株式	△17,625	△17,677
株主資本合計	2,455,830	2,555,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,147	5,860
退職給付に係る調整累計額	△80,557	△67,263
その他の包括利益累計額合計	△78,410	△61,402
純資産合計	2,377,419	2,493,699
負債純資産合計	5,846,351	6,249,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,069,769	4,348,072
売上原価	3,608,320	3,735,612
売上総利益	461,448	612,460
販売費及び一般管理費	445,604	487,582
営業利益	15,844	124,877
営業外収益		
受取配当金	530	305
仕入割引	1,677	1,782
その他	424	540
営業外収益合計	2,633	2,627
営業外費用		
支払利息	13,134	12,593
売上割引	44	45
その他	269	240
営業外費用合計	13,448	12,879
経常利益	5,029	114,625
特別利益		
固定資産売却益	765	-
投資有価証券売却益	13,785	-
特別利益合計	14,550	-
特別損失		
固定資産除売却損	-	4,194
特別損失合計	-	4,194
税金等調整前四半期純利益	19,579	110,430
法人税、住民税及び事業税	16,343	18,218
法人税等調整額	△4,781	△7,111
法人税等合計	11,562	11,107
少数株主損益調整前四半期純利益	8,016	99,323
四半期純利益	8,016	99,323

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,016	99,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,280	3,713
その他の包括利益合計	△5,280	3,713
四半期包括利益	2,735	103,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,735	103,037

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年7月28日付で、資本金を913,000千円減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を344,818千円減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が700,000千円、資本剰余金が1,399,332千円となっております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	合計 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,738,471	1,331,297	4,069,769	—	4,069,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,738,471	1,331,297	4,069,769	—	4,069,769
セグメント利益又は損失(△)	△80,393	81,837	1,444	14,400	15,844

(注) ※1 セグメント利益の調整額14,400千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 ※1	合計 ※2
	金型	産業機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,070,729	1,277,342	4,348,072	—	4,348,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,070,729	1,277,342	4,348,072	—	4,348,072
セグメント利益又は損失(△)	46,043	64,434	110,477	14,400	124,877

(注) ※1 セグメント利益の調整額14,400千円は、セグメント間取引消去であります。

※2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更による、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響はありません。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
金型	3,239,546	8.4	1,446,666	2.0
産業機器	1,355,282	5.1	1,105,414	△6.5
合計	4,594,829	7.4	2,552,080	△1.8

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。